

東大和市駅周辺 まちづくり意見交換会（第5回）



令和8年7月1日（水）

南街市民センター（南街公民館） 202集会室

東大和市 まちづくり部 都市づくり課

◆ 本日の内容

- (1) まちづくりのロードマップと
意見交換会の趣旨・進め方について
- (2) まちづくり構想について
- (3) 社会実験について
- (4) 意見交換

(1) まちづくりのロードマップと意見交換会の趣旨・進め方について

<意見交換会の趣旨・進め方>

<目的>

東大和市駅周辺のまちづくりに関して、市と地域の皆様に意見交換を行い、まちづくりの将来像及び実現に向けたロードマップの検討を行うことを目的としています。

<参加者>

市内に在住・在勤・在学している方
東大和市のまちづくりに意欲がある方

<場所>

向原市民センター 又は 南街市民センター

<開催曜日、時間>

平日の夜間に開催しています。

【これまでの意見交換会について】

- ・東大和市駅周辺のまちづくりに関する意見交換会は令和7年度から開始し、これまでに計4回開催しました。

(令和7年度意見交換会の開催状況)

過去の意見交換会の資料及び開催結果は、市ホームページでご覧いただけます。 ➡



第1回意見交換会 (令和7年5月21日)	第2回意見交換会 (令和7年8月27日)	第3回意見交換会 (令和7年11月11日)	第4回意見交換会 (令和8年2月10日)
参加人数:16人 テーマ: ・東大和市駅周辺のまちづくりの目標 ・まちづくりアンケートの実施について 等	参加人数:15人 テーマ: ・アンケート調査の結果について ・まちづくり方針・将来像の検討について 等	参加人数:13人 テーマ: ・まちの将来像(案)について 等	参加人数:13人 テーマ: ・到達状況とロードマップの確認について 等

(1) まちづくりのロードマップと意見交換会の趣旨・進め方について

- 令和8年度は、東大和市駅周辺のまちづくり構想の策定に向けて、市民の皆さまと意見交換を行いながら、まちづくりの考えを整理していきます。

<まちづくりのロードマップ(案)>

現在

第1フェーズ
(令和4年度～令和6年度)

市全体のまちづくり像
を示す

都市マスタープラン

- ・都市全体の将来像
- ・都市全体のまちづくりの目標



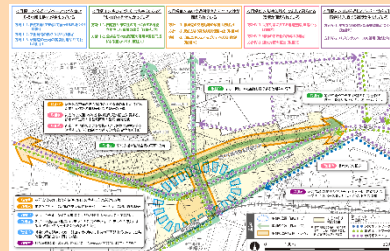
東大和市都市マスタープラン
(令和7年3月改定)

第2フェーズ
(令和6年度～令和7年度)

地区／エリアのまちづくり
の方向性を考える

まちの将来像(案)、
まちづくり方針・取組(案)

- ・東大和市駅周辺のまちの将来像(案)の検討
- ・まちづくり方針・取組(案)の検討



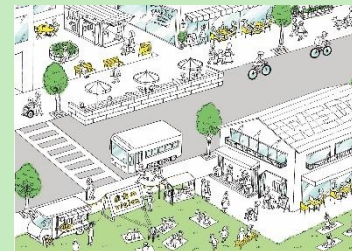
まちづくり方針図(案)の検討

第3フェーズ
(令和8年度～令和9年度)

地区／エリアのまちづくり
の考えをまとめる

まちづくり構想

- ・まちづくり構想の策定
- ・都市計画や関連するまちづくり事業の進め方の整理・検討



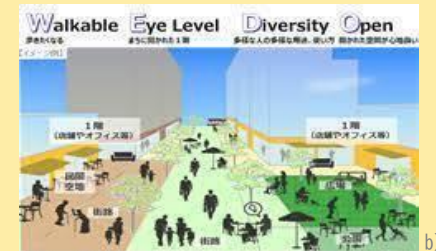
官民連携によるまちづくりのイメージ

第4フェーズ

地区／エリアのまちづくり
事業の実現

まちづくりに関する各事業

- ・各種事業等の実現に向けた取組の推進
- (例)・居心地の良い歩行空間整備
- ・街区再編まちづくり 等



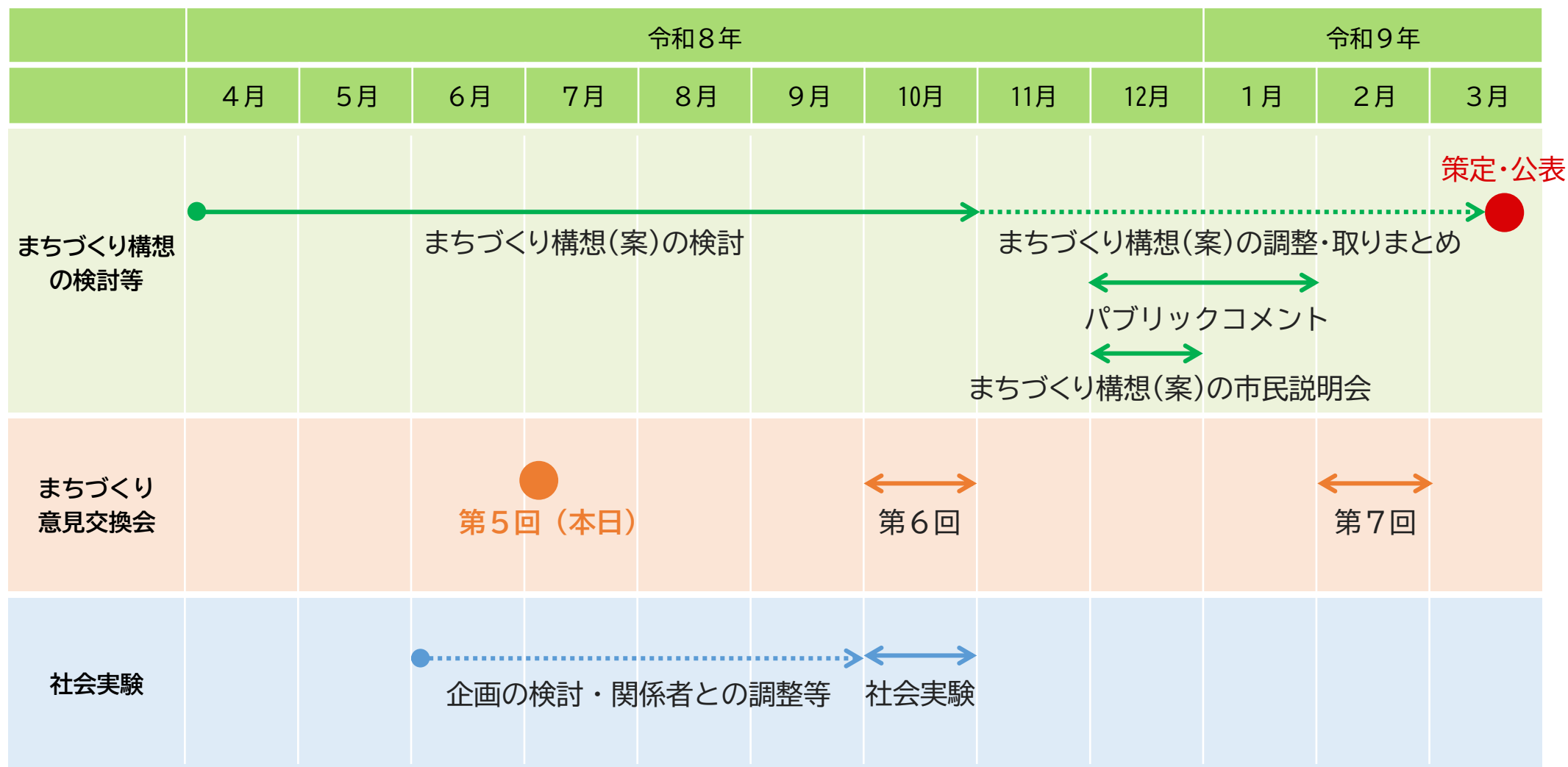
ウォーカブルなまちづくりのイメージ

※まちづくりのロードマップは現時点での案であり、時期・内容は検討状況等に応じて変更する場合があります。

(1) まちづくりのロードマップと意見交換会の趣旨・進め方について

- ・令和8年度は、まちづくり構想の検討を進めるとともに、意見交換会や社会実験を通じて皆さまのご意見を伺いながら、年度末のまちづくり構想の策定・公表を目指します。

<令和8年度スケジュール（案）>



※スケジュールは現時点での案であり、時期・内容は検討状況等に応じて変更する場合があります。

◆ 本日も意見をいただきたい事項

東大和市駅周辺で、今後進めるとよいと思う
取組やプロジェクトについてご意見をお聞かせください。

本日も紹介する取組やプロジェクトを参考にしながら、
特に進めるとよいと思うものや、新たなアイデアについてご意見をお聞かせください。

質問
1

東大和市駅周辺をより魅力的な場所にするために、
特に実現してほしい取組やプロジェクトはありますか？

質問
2

比較的早い段階から実施できそうな取組や、
社会実験として試してみたい取組はありますか？

(2) まちづくり構想について



まちづくり構想の 目的・位置付け

東大和市駅周辺のまちの現状や課題を踏まえ、
市民・事業者・行政が共有する
まちの将来像やまちづくりの目標・方針を定め、
その実現に向けたまちづくりの進め方を示すものです。

まちづくり構想の構成（案）

第Ⅰ章

まちづくり の前提



- 対象地区の位置等
- 東大和市駅周辺の変遷
- 関連上位計画

第Ⅱ章

まちは今



- まちの現況
- まちの魅力と課題

第Ⅲ章

まちの将来を描く



- まちの将来像
- まちづくりの目標
- まちづくり方針

第Ⅳ章

みんなで 実行すること



- まちづくりの進め方
- まちづくりの手法

本日は、これまでにいただいたご意見等を踏まえ、今後考えられる取組やプロジェクトのイメージを整理しました。
後ほどの意見交換で、特に進めるとよいと思うものや、新たなアイデアについてご意見をお聞かせください。

(2) まちづくり構想について

第Ⅲ章 まちの将来を描く



【視点1】住民の生活を支えるサービスが充実している
子育て世代に必要な都市機能、シニアもアクティブに活動できる場、
生涯学習に資するサービスなどが、いつも使う駅前に集積

まちづくりの目標Ⅰ

“あそびノバージョン”を育む
多様な都市機能が集まっている

<方針・取組>

世代を超えて安心して暮らせる環境づくり

- 安心して子育てができる環境を整えるとともに、学生から大人まで多様な世代が心地よく集い、交流できる場を創出する。



参考イメージ：子どもも大人も安心して過ごせる「八戸まちなか広場」(八戸市)

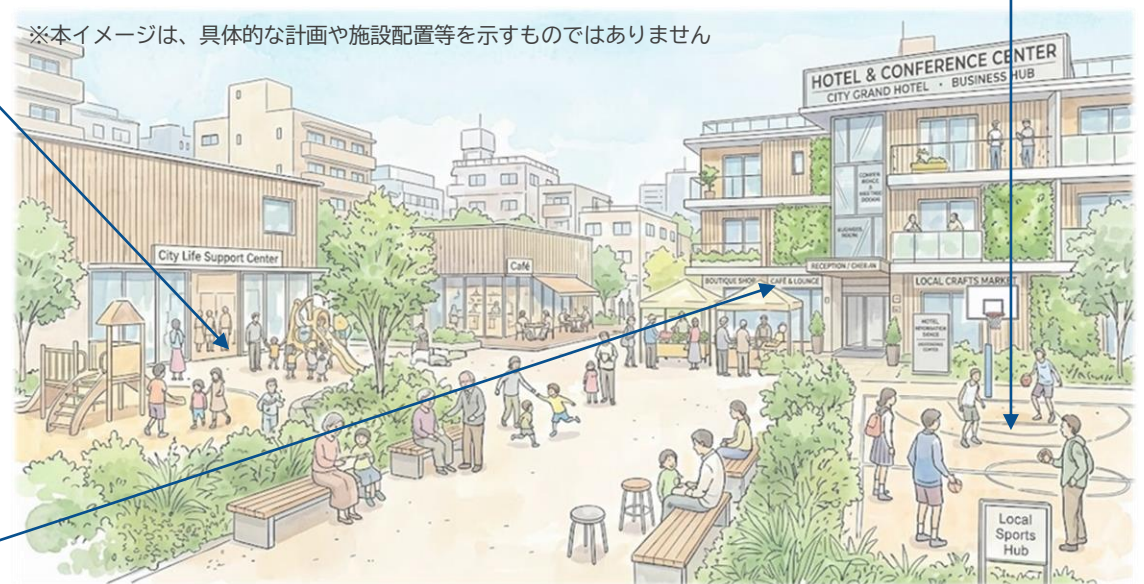
文化発信の拠点づくり

- 既存のスポーツ施設などを活かし、新しいイベントや文化活動を取り入れて、まちににぎわいを生み出す。

参考イメージ：
小学生アイス
スケート教室
(BIG BOX
東大和)



※本イメージは、具体的な計画や施設配置等を示すものではありません



方針・取組のイメージ

駅周辺の土地の高度利用や共同化

- 商業・宿泊・高質な住まいなど地域の暮らしと活動を支える都市機能の整備を促すとともに、土地の集約や道路・広場整備、建物の更新・共同建替えを誘導し、駅周辺の高度利用を図る。



参考イメージ：駅前の商業施設
「nonowa国立SOUTH」(国立駅南口)

(2) まちづくり構想について

第Ⅲ章 まちの将来を描く



【視点2】用事がなくても立ち寄りたくなる

特に目的がなくても、何気なく駅前まで散歩したくなる、
駅前で何かやっていると期待して、ふらっと立ち寄りたくなる場

まちづくりの目標Ⅱ

歩いて楽しく、立ち寄りたくなる
“まなびの場”が広がっている

<方針・取組>

回遊性や滞留性の向上に資する機能立地や歩行環境の改善

- ・沿道商業エリアに、まちに開かれた店舗（建物1階沿道部分がガラス張りの路面店等）を誘導する。

参考イメージ：1階沿道部分がまちに開かれた店舗（松山市 花園町通り）



(d)

- ・駅前広場や道路について、誰もが安全かつ円滑に通行できるよう、通行環境の改善を図るとともに、多様なニーズに応じて活用できる空間の形成を推進する。

参考イメージ：用水北通りの改修イメージ



(e)

公共空間・地域資源の活用や景観形成による魅力づくり

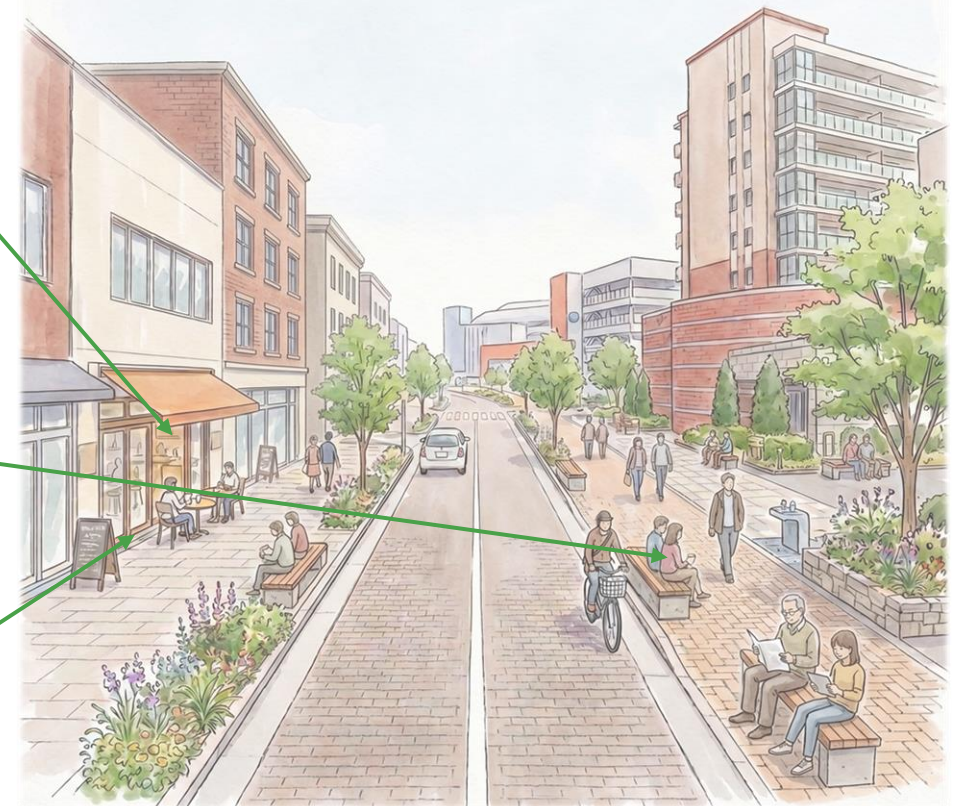
- ・道路空間や空き家・店舗の活用を促進するとともに、良好な景観や環境づくりに向けた、地域ルールの策定等を検討する。



(f)

参考イメージ：戸建て住宅を改修して設けられた、“食”を中心としたパブリック commons ペース「okatte にしおぎ」（杉並区宮前5丁目）

※本イメージは、具体的な計画や施設配置等を示すものではありません



方針・取組のイメージ

(2) まちづくり構想について

第Ⅲ章 まちの将来を描く



【視点3】ストレスレスで駅へ行き来できる

東大和市駅と市内各所との往来に伴うストレスを軽減し、都心（中枢広域拠点）や立川（中核的な拠点）へのアクセスがしやすい

まちづくりの目標Ⅲ

高い交通利便性とアクセス性が備えられている

<方針・取組>

駅前広場の乗り換え利便性向上

- 駅とバス・タクシー乗降場を結ぶ通路への屋根の設置や、自家用車の送迎用駐車スペースの整備を行う。



参考イメージ：通路の屋根
(新所原駅北口駅前広場)

駅周辺の交通動線の改善

- 駅周辺の交通渋滞の緩和や防災機能の向上を図るため、都市計画道路の整備や無電柱化を推進する。

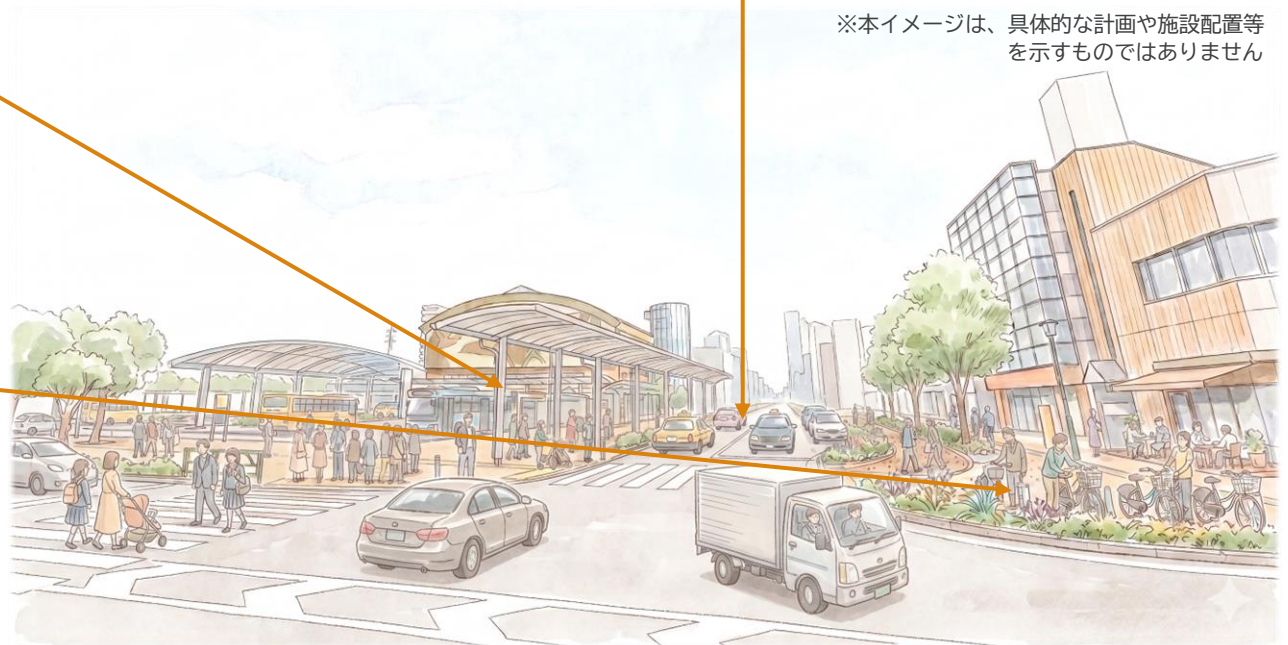
※本イメージは、具体的な計画や施設配置等
を示すものではありません

自転車やシェアモビリティの活用推進

- 市内各所への移動を支える、自転車の走行・駐輪環境の整備や、シェアモビリティ（シェアサイクルなど）のポート整備を促進する。



参考イメージ：南街四丁目
シェアサイクルポート



方針・取組のイメージ

(2) まちづくり構想について

第Ⅲ章 まちの将来を描く



【視点4】災害時でも速やかに日常へ復帰できる

大きな災害が起きてても被害が拡大・長期化しない、
速やかに日常の状態へ復帰する、安心して暮らし続けられる環境



まちづくりの目標Ⅳ

災害に強く、安心して暮らせる
環境が備えられている

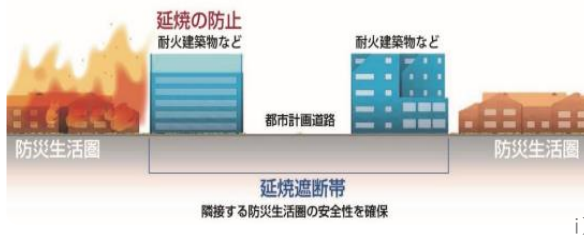
<方針・取組>

災害対策に資する道路整備、無電柱化

- ・ 駅周辺の交通渋滞の緩和や防災機能の向上を図るため、都市計画道路の整備や無電柱化を推進する。

建物の不燃化の誘導

- ・ 都市計画道路の整備と合わせて沿道の建物の建替え等を誘導する。



参考イメージ：都市計画道路の整備による
市街地の防災性向上のイメージ

浸水対策の推進

- ・ 頻発する浸水被害への対策として、「空堀川上流雨水幹線整備事業」を推進する。

※本イメージは、具体的な計画や施設配置等を示すものではありません



方針・取組のイメージ

(2) まちづくり構想について

第Ⅲ章 まちの未来を描く



【視点5】まちの未来を描く実験と挑戦が繰り返される

市民・事業者・行政が共に考え、創る、
小さな取組を重ねながら学び合う仕掛け



まちづくりの目標Ⅴ

共創を通じて、“あそび”から新しい
価値を試し育てる循環が生まれている

<方針・取組>

まちづくりの核となる交流拠点づくり

- ・社会実験による暫定利用を通じて、芝生広場や仮設コンテナなどを活用した地域交流空間の創出に向けた検討を行う。



参考イメージ: 若者クリエイティブコンテナ(宇部市)

パブリックスペースの活用

- ・駅前広場、鉄道高架下、野火止用水沿い、道路などのパブリックスペースについて、多様な主体による活動や活用の促進を図る。



l)



k)

参考イメージ: 高架下の夜市(東大和市駅)

参考イメージ: 野火止用水の様子



※本イメージは、具体的な計画や施設配置等を示すものではありません

方針・取組のイメージ

(3) 社会実験について

東大和市駅前 の状況

- ・ 駅前には多くの人が行き交う場所であり、屋外空間を活かすことで、さらに人々が滞在し、交流できる魅力的な空間となる可能性があります。

これまでの 意見交換会で いただいたご意見

- ・ 歩きたくなる・立ち寄りたくなる、魅力的で居心地の良い駅前にしたい。
- ・ 人が集い、交流や憩いの時間を楽しめる空間がほしい。
- ・ 駅前空間を活かし、新たな活動やにぎわいを生み出してはどうか。

将来のまちの姿を具体的にイメージしながら検討できるよう、
社会実験を実施します。



社会実験 の目的

- 駅前に人が集い、くつろげる空間をつくり、多様な活用方法を試します。
- 利用状況やニーズを把握し、今後のまちづくりの検討に活かします。



※本図はイメージであり、実際の社会実験の内容とは異なります

(3) 社会実験について

社会実験の実施コンセプト(案)

「ちょっと立ち寄りたくなる、駅前の居場所づくり」
～あそびのタネを見つけ、育てる社会実験～



休憩や
待ち合わせが
出来る場所



交流や
賑わいが
生まれる場所



思い思いの
時間を
過ごせる場所



イベントなどで
ワクワクする
場所



実施期間・内容

10月中の1～2週間程度

人工芝やイス・テーブルの設置を検討しています。

イベントの開催

実施期間中の週末の2日間程度は、
キッチンカーの出店やテントの設置のほか、
人々の交流・滞在を促す企画(本を活用した取組等)
の実施を検討しています。



検証・調査内容

利用者カウントや行動観察、アンケート調査を通じて、
社会実験の効果や今後の活用ニーズを把握します。

利用状況



どのくらいの人が、
どのように利用し
たかを確認します。

行動の変化



休憩・飲食・会話など、
駅前での行動の変化
を確認します。

空間の評価



居心地や安全性、
使いやすさなどの
評価を確認します

※ 詳細な実施場所や実施内容については、関係者との調整を踏まえ、今後決定していきます。

(3) 社会実験について

参考事例

幕張豊砂 ウォーカブル推進社会実験 (千葉市)

- 駅前広場や歩道、民間敷地を活用したイベントを開催
- キッチンカーやマルシェ等によりにぎわいを創出

画像出典：千葉市、幕張豊砂ウォーカブル推進社会実験 (https://www.city.chiba.jp/sogoseisaku/miraitoshi/makuhari/makuharitosuna_walkable.html)



自由が丘 えきまえプラス (目黒区)

- 駅前広場での交流・滞留空間創出の社会実験
- 屋外シンポジウムやアートイベントを開催

画像出典：株式会社UC都市建築撮影

YAMANASHI BOOKSCAPE (山梨市)

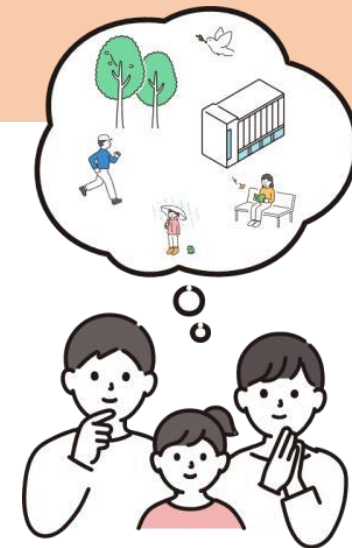
- 本を通じて人と人がつながる交流イベントを開催
- 公共空間で、気軽に本に触れられる機会を提供

画像出典：山梨市、YAMANASHI BOOKSCAPE (<https://www.city.yamanashi.yamanashi.jp/site/everydaylife/10797.html>)



(4) 意見交換

- 今後の東大和市駅周辺のまちづくりの検討に活かしていくため、皆さまの率直なご意見やアイデアをお聞かせいただきたいと思います。



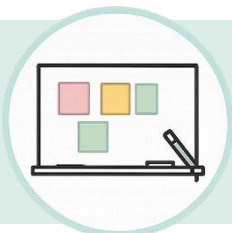
～ 意見交換の進め方 ～



1

各自でご意見を付せんにご記入

(約5分)



2

付せんをホワイトボードに貼り出し・グルーピング

(約5分)



3

全体で内容を共有、追加のご意見

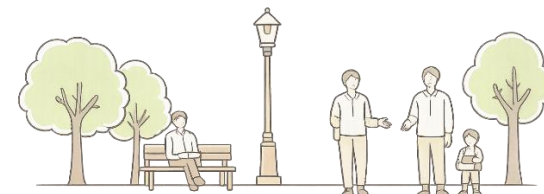
(約15分)

短い時間ではありますが、皆さまのご意見やアイデアが今後のまちづくりにつながります。
ぜひ自由な発想でご意見をお聞かせください。

(4) 意見交換

東大和市駅周辺で、今後進めるとよいと思う取組やプロジェクトについて ご意見をお聞かせください。

本日ご紹介した取組やプロジェクトを参考にしながら、
特に進めるとよいと思うものや、新たなアイデアについてご意見をお聞かせください。



質問
1

東大和市駅周辺をより魅力的な場所
にするために、特に実現してほしい
取組やプロジェクトはありますか？

意見を出す際の視点（例）

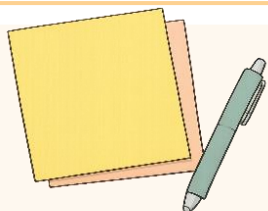
- 駅周辺にどのような機能や施設があると良いですか
- 人が集まり、交流やにぎわいが生まれるためには何が必要ですか
- 東大和市らしい魅力を高めるために、どのような取組があるとよいですか

質問
2

比較的早い段階から実施できそうな
取組や、社会実験として試してみたい
取組はありますか？

意見を出す際の視点（例）

- まずは試験的に実施してみたいことは何ですか
- 短期間・小規模でも取り組みそうなことは何ですか
- 市民や事業者が参加しやすい取組は何ですか



- ✓ 付せんにご意見やアイデアをご記入ください。
- ✓ 付せん1枚につき1つの内容を、できるだけ具体的にご記入ください。

まちづくり構想（草稿）
第Ⅲ章 まちの将来を描く

1. まちの将来像

まちの現況・課題の整理を踏まえ、“あそび”や“まなび”という視点から、駅周辺のまちの将来像を検討しました。

<まちの将来像>

(仮称) あそびノベーションフィールド ～まなびまち～

ここのエリアには、「交流」「子育て・教育」「スポーツ・健康」「創る」「文化・芸術・音楽」「環境・自然」など、日常の中に“あそび”へ開かれていく多彩な要素が根づいています。

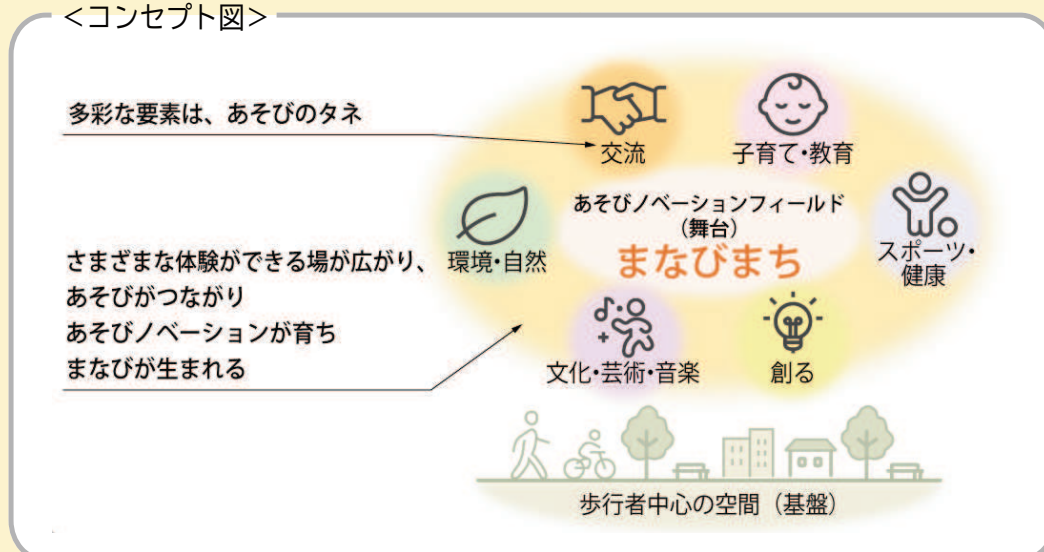
これらの“あそび”の資質を活かす、さまざまな体験ができる環境や柔軟に使える“余白”のある環境を広げていくことで、一人ひとりの「やってみたい」が形になる場を育てます。

そうした積み重ねの中で、“あそび”がつながり、“あそびノベーション”（“あそび”＋“イノベーション”）が育まれ、“まなび”を享受するまちを目指します。



市民・事業者・行政がともに試し、つくり、育てていく。
変化する社会や暮らしに寄り添い、新しい都市文化が芽生える
“まなび”の拠点を創ります。

<コンセプト図>



- “あそび” : 娯楽に限らず、人・地域・自然と関わりながら、成果を急がず自発的に取り組む活動全体。
“イノベーション” : 新しい発想や組み合わせによって、社会や暮らしに新たな価値や変化をもたらすこと。
“あそびノベーション” : あそびを起点に、新しい価値や関係性が生まれていく創造的プロセス。
“まなび” : そのプロセスの中で生まれる、気づきや成長の積み重ね。

2. まちづくりの目標

多様な“まなび”のポテンシャルを引き出しながら、それを支える基盤として、誰もが快適に行き来でき、安心して過ごせる開かれたまちの実現を目指し、5つの視点からまちづくりの目標を定めます。

<東大和市駅周辺のまちづくりの5つの視点>

<まちづくりの目標>

【視点1】にぎわいや交流を創出する都市機能が
集まっていること



子育て世代に必要な都市機能、シニアも
アクティブに活動できる場、生涯学習に資する
サービスなどが、いつも使う駅前に集積

【目標Ⅰ】
“あそびノベーション”
を育む
多様な都市機能が
集まっている

【視点2】用事がなくても立ち寄りたくなる



特に目的がなくても、何気なく駅前まで
散歩したくなる、駅前で何かやっている
と期待して、ふらっと立ち寄りたくなる場

【目標Ⅱ】
歩いて楽しく、
立ち寄りたくなる
“まなびの場”
が広がっている

【視点3】ストレスレスで駅へ行き来できる



東大和市駅と市内各所との往来に伴うストレス
を軽減し、都心（中枢広域拠点）や
立川（中核的な拠点）へのアクセスがしやすい

【目標Ⅲ】
高い交通利便性と
アクセス性が
備えられている

【視点4】災害時でも速やかに日常へ復帰できる



大きな災害が起きても被害が拡大・長期化
しない、速やかに日常の状態へ復帰する、
安心して暮らし続けられる環境

【目標Ⅳ】
災害に強く、
安心して暮らせる
環境が備えられている

【視点5】まちの未来を描く実験と挑戦が
繰り返される



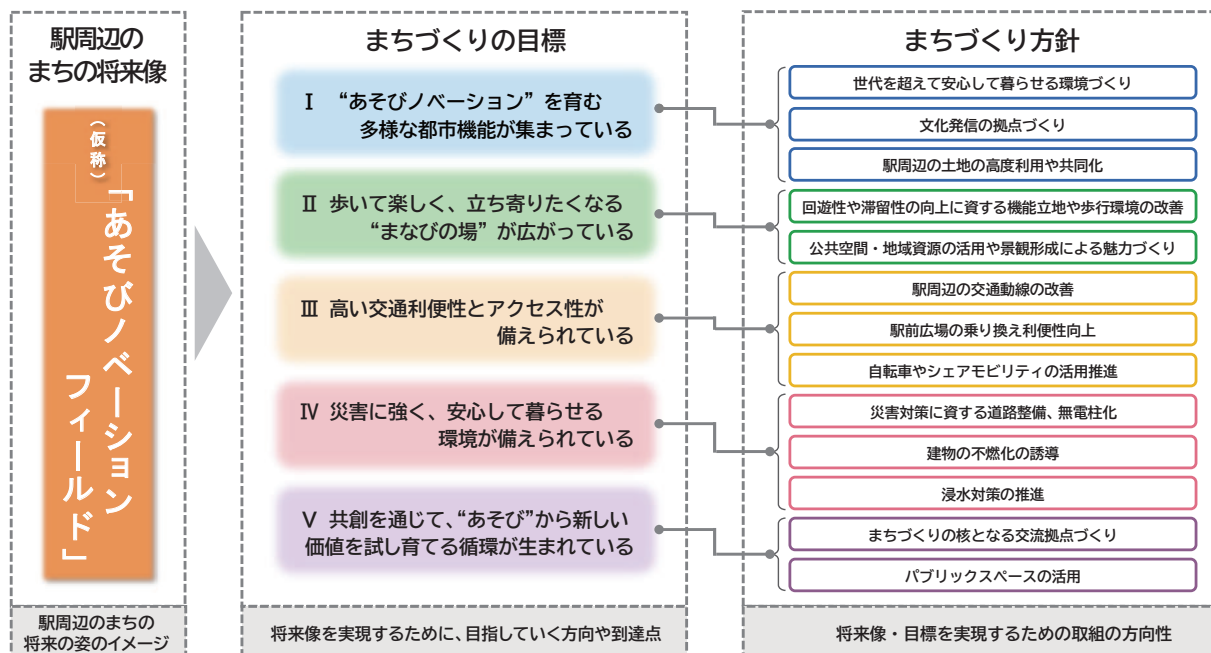
市民・事業者・行政が共に考え、創る、
小さな取組を重ねながら学び合う仕掛け

【目標Ⅴ】
共創を通じて、
“あそび”から
新しい価値を
試し育てる循環が
生まれている

3. まちづくり方針

“あそびノバージョン”を育み、まちづくりの目標を実現するため、駅周辺における今後の方向性として、まちづくり方針・取組を整理しました。

<まちづくり方針の体系図>



<東大和市駅周辺のまちづくり方針・取組>

まちづくりの目標 I：

“あそびノバージョン”を育む多様な都市機能が集まっている

【まちづくり方針 I-1】世代を超えて安心して暮らせる環境づくり

〔取組①〕安心して子育てができる環境を整えるとともに、学生から大人まで多様な世代が心地よく集い、交流できる場を創出する。

参考イメージ：子どもも大人も安心して過ごせる「八戸まちなか広場」（八戸市）



【まちづくり方針 I-2】文化発信の拠点づくり

〔取組②〕既存のスポーツ施設などを活かし、新しいイベントや文化活動を取り入れて、まちににぎわいを生み出す。

参考イメージ：小学生アイススケート教室（BIG BOX 東大和）



a) 全国まちなか広場研究会、八戸まちなか広場「マチニフ」(<https://machinakahiroba.main.jp/2017/03/23/> 八戸まちなか広場「マチニフ」)

b) 東大和市 HP、「イベントレポート」令和7年8月23日・24日小学生アイススケート教室開催 (<https://www.city.higashiyamato.lg.jp/bunkasports/event/1003707/1011300.html>)

【まちづくり方針Ⅰ－3】駅周辺の土地の高度利用や共同化

〔取組③〕商業・宿泊・高質な住まいなど地域の暮らしと活動を支える都市機能の整備を促すとともに、土地の集約や道路・広場整備、建物の更新・共同建替えを誘導し、駅周辺の高度利用を図る。

参考イメージ：駅前の商業施設「nonowa 国立 SOUTH」（国立駅南口） a)



まちづくりの目標Ⅱ：

歩いて楽しく、立ち寄りたくなる“まなびの場”が広がっている

【まちづくり方針Ⅱ－1】回遊性や滞留性の向上に資する機能立地や歩行環境の改善

〔取組④〕沿道商業エリアに、まちに開かれた店舗（建物1階沿道部分がガラス張りの路面店等）を誘導する。

参考イメージ：1階沿道部分がまちに開かれた店舗（松山市 花園町通り） b)



〔取組⑤〕駅前広場や道路について、誰もが安全かつ円滑に通行できるよう、通行環境の改善を図るとともに、多様なニーズに応じて活用できる空間の形成を推進する。

参考イメージ：拡幅や舗装の高質化により、歩きやすく快適に利用できるようになった歩道（大阪市 御堂筋） c)



【まちづくり方針Ⅱ－2】公共空間・地域資源の活用や景観形成による魅力づくり

〔取組⑥〕道路空間や空き家・店舗の活用を促進するとともに、良好な景観や環境づくりに向けた、地域ルールの策定等を検討する。

参考イメージ：戸建て住宅を改修して設けられた、“食”を中心としたパブリックコモンスペース「okatte にしおぎ」（杉並区宮前5丁目） d)



a) MOCTION、nonowa 国立 SOUTH (https://moction.jp/moction_magazine/nonowa-kunitachi/)
 b) 松山市、花園町通りリニューアル (<https://www.city.matsuyama.ehime.jp/shisei/keikaku/gairoseibi.files/2023hanazono.pdf>)
 c) セントラルコンサルタント株式会社、御堂筋における道路空間の再編 (<https://www.central-con.co.jp/projects/御堂筋における道路空間の再編/>)
 d) okatte にしおぎ (<https://www.okatte-nishiogi.com/know.html>)

まちづくりの目標Ⅲ:

高い交通利便性とアクセス性が備えられている

【まちづくり方針Ⅲ－１】駅周辺の交通動線の改善

〔取組⑦〕駅周辺の交通渋滞の緩和や防災機能の向上を図るため、都市計画道路の整備や無電柱化を推進する。

【まちづくり方針Ⅲ－２】駅前広場の乗り換え利便性向上

〔取組⑧〕駅とバス・タクシー乗降場を結ぶ通路への屋根の設置や、自家用車の送迎用駐車スペースの整備を行う。



参考イメージ：通路の屋根（新所原駅北口駅前広場） a)

【まちづくり方針Ⅲ－３】自転車やシェアモビリティの活用推進

〔取組⑨〕市内各所への移動を支える、自転車の走行・駐輪環境の整備や、シェアモビリティ（シェアサイクルなど）のポート整備を促進する。



参考イメージ：南街四丁目シェアサイクルポート b)

まちづくりの目標Ⅳ:

災害に強く、安心して暮らせる環境が備えられている

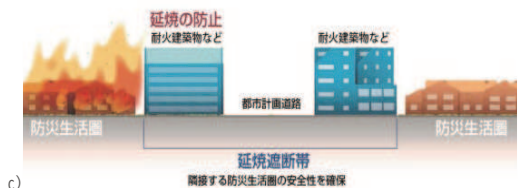
【まちづくり方針Ⅳ－１】災害対策に資する道路整備、無電柱化

〔取組⑩〕駅周辺の交通渋滞の緩和や防災機能の向上を図るため、都市計画道路の整備や無電柱化を推進する。

【まちづくり方針Ⅳ－２】建物の不燃化の誘導

〔取組⑪〕都市計画道路の整備と合わせて、沿道の建物の建替え等を誘導する。

参考イメージ：都市計画道路の整備による市街地の防災性向上のイメージ



【まちづくり方針Ⅳ－３】浸水対策の推進

〔取組⑫〕頻発する浸水被害への対策として、「空堀川上流雨水幹線整備事業」を推進する。

a) 積水樹脂株式会社、駅前広場の乗降場 (https://www.sekisuijushi.co.jp/products/bollard/super_core/)

b) OpenStreet 株式会社、HELLO CYCLING (<https://www.hellocycling.jp/station/tokyo/>) 東大和市

c) 東京都都市整備局、防災都市づくり推進計画～基本方針～

まちづくりの目標Ⅴ：

共創を通じて、“あそび” から新しい価値を試し育てる循環が生まれている

【まちづくり方針Ⅴ－１】まちづくりの核となる交流拠点づくり

〔取組⑬〕社会実験による暫定利用を通じて、芝生広場や仮設コンテナなどを活用した地域交流空間の創出に向けた検討を行う。

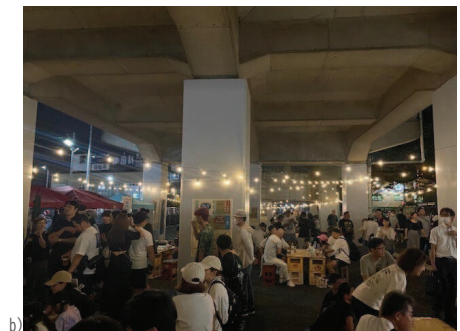
参考イメージ：若者クリエイティブコンテナ（宇部市）



【まちづくり方針Ⅴ－２】パブリックスペースの活用

〔取組⑭〕駅前広場、鉄道高架下、野火止用水沿い、道路などのパブリックスペースについて、多様な主体による活動や活用の促進を図る。

参考イメージ：高架下の夜市（東大和市駅）



<まちづくり方針図>

<目標Ⅰ> “あそびノベーション”を育む
多様な都市機能が集まっている

- 方針Ⅰ-1. 世代を超えて安心して暮らせる環境づくり〔取組①〕
- 方針Ⅰ-2. 文化発信の拠点づくり〔取組②〕
- 方針Ⅰ-3. 駅周辺の土地の高度利用や共同化〔取組③〕

<目標Ⅱ> 歩いて楽しく、立ち寄りたくなる
“まなびの場”が広がっている

- 方針Ⅱ-1. 回遊性や滞留性の向上に資する機能
立地や歩行環境の改善〔取組④、⑤〕
- 方針Ⅱ-2. 公共空間・地域資源の活用や景観形成
による魅力づくり〔取組⑥〕

<目標Ⅲ> 高い交通利便性とアクセス性が
備えられている

- 方針Ⅲ-1. 駅周辺の交通動線の改善〔取組⑦〕
- 方針Ⅲ-2. 駅前広場の乗り換え利便性向上〔取組⑧〕
- 方針Ⅲ-3. 自転車やシェアモビリティの活用推進
〔取組⑨〕

<目標Ⅳ> 災害に強く、安心して暮らせる
環境が備えられている

- 方針Ⅳ-1. 災害対策に資する道路整備、無電柱化
〔取組⑩〕
- 方針Ⅳ-2. 建物の不燃化の誘導〔取組⑪〕
- 方針Ⅳ-3. 浸水対策の推進〔取組⑫〕

<目標Ⅴ> 共創を通じて、“あそび”から新しい
価値を試し育てる循環が生まれている

- 方針Ⅴ-1. まちづくりの核となる交流拠点づくり
〔取組⑬〕
- 方針Ⅴ-2. パブリックスペースの活用〔取組⑭〕

